



司会は今年も学部生

"皆様こんにちわ。入学おめでとうございます。そして東京工業大学によこそ。本日はお忙しいところ、この歓迎会にお集まり頂き有難うございます。本日の司会は私…学部4年の…が勤めさせていただきます。短い時間ではありますが、皆様が楽しい一時を過ごせますよう、スムーズに、そしてユーモラスに会を進行させたいと思います"…



歓迎の挨拶をする 太田さん

"蔵前工業会は今年 110 周年を迎えますが、この間、大学に寄り添いながら、日本の科学技術の進歩、産業の育成、科学技術リテラシーの普及、そして大学支援などを通して一緒に成長してきました。…蔵前ゼミとその後の交流会を通して、皆さんの先輩(日本や世界の産業や研究の革新に関わった人たち)から多くを吸収して下さい"…



来賓挨拶をする 水本副学長

"私は電気系ですが、卒業生を見ますと、基幹産業のみならず、まさかという分野でも活躍しています。彼らに共通なのは、後輩の成長に役立ちたいという気持ちです。…来年4月からは教育改革が断行されますので、期待して下さい。…先輩のアドバイスに耳を傾けつつも、自分も後輩を引っ張るのだという気概を持ってください"…



教員挨拶をする 湯浅さん

"今日の安藤さんの話にあったように、自分なりにロマンを見つけることは大事です。私は研究をやっているうちに博士課程に進みたいという気持ちが強くなりました。…最近の新入社員の弱点は、自分で考えなくなったことだそうです。日々の実験やこのようなイベントに積極的に関わり、自分で自分の道を切り拓くようにしましょう"…



"目の前の料理に心を奪われている皆さん 大変お待たせしました"の後の 歓談風景



蔵前工業会 学生分科会の説明をする中嶋さん



大抽選会で iPad をゲット

蔵前工業会からは 昨年同様 豪華賞品が贈られた(贈呈者:本房事務局長)。「残り物(者)には福がある」を実感したに違いない;食べ物が無くなっても残っていた甲斐があったのだ。これに先立ち、クイズ大会もあり図書券, リポビタンD, 食事券, Fujitsu のレタス券などが贈られた。クイズを考えたのは物理学科3年の岡崎俊樹で、沖ノ鳥島の位置, 訓読みの訓は実は音読みであること, ドラえもんが初めて食べたのはどら焼きでなくモチだったこと, マクドナルドのロゴの由来, ライト兄弟は2人兄弟ではなく他に3人の兄, 妹, があったこと, 保育園には親の依頼があれば高校生でも入園できることなどを教えて貰った。



閉会の挨拶をする 錦織さん (元 旭硝子 専務取締役)

錦織さんが 蔵前工業会 神奈川県支部長だった時に、蔵前ゼミが始まった。同窓生の経験を現役学生に伝える仕組みを作った「教育改革」の仕掛け人だ。" 沢山の学生に囲まれて今日はとても幸せだ。蔵前ゼミのスタート時に世話になった三島 研究科長(当時)は現学長だし、広瀬 研究科長(当時)は今も印象記を書いてくれている。…会社では役員と話ができるようになるのは早くも10年後だ。蔵前ゼミの交流会では役員経験者と気楽に話ができる。贅沢なほど恵まれた機会ゆえ、これからも活用して欲しい。横にいる司会者が卒研に取組んでいる 無機材研究室で、私も卒研をした;ガラスの縁だが、昔は日本でガラスの研究をしているのは3研究室しかなく、由緒ある流れだ。



iGEMのメンバー

「アレっ どうしてここに?!」と思わず訊いてしまった。蔵前工業会 神奈川県支部は、すずかけ台を拠点に活動する iGEM チームを支援している (年間 30 万円)。この支援に対する感謝の気持ちを伝えるためにメンバーが揃って参加したのだと分って、記念写真を撮らせてもらった。

東工大の iGEM チームは、International Genetically Engineered Machine (iGEM) Competition といわれる合成生物学分野のコンペで 8 年連続金賞を受賞している。我が東工大チームは今や世界的に有名になっているが、生命理工が本格的に関わりだした 2008 年の時は、出発直前に“事件”が起きた。当時 生命理工学部長だった広瀬茂久 (前列右から 2 人目) のところへ出発の挨拶にいったときのことだ。普通は激励の言葉と饞別を貰っておしまいなのだが、この時は、「どんな内容?」という展開になり、学部長の前でプレゼンをすることになった。そして発表を終えたところで、「今から組み替えてもいい?」と柔らかくダメ出しをされてしまった。「説明を聞かなくても、見ただけで分るスライドを作るのが基本だ。英語での発表となるとなおさらだ」という訳だが、なにぶん時間がない。

“すみません勘弁して下さい”と言いたかったに違いないが、MIT での発表予定者たちは、すかさず、「徹夜してでもやります。言い回しは飛行機の中で考えます」と応じ、スライドの作り直しをし、学部長の OK を取りつけた。しかし、学部長だった広瀬さんには、後悔していることがある; 饞別にまで気が回らなかったのだ。

内容で勝負するのはもちろんだが、プレゼンテーションを左右するスライドや動画の作り方もマスターしよう。プレゼンは相手に分ってもらって初めて意味がある。それには、“聴衆の負担をいかに軽くするか”に心を砕かねばならない。一目で内容が分るスライドやプリント (Handouts) を作るのは意外と難しく時間がかかる。日頃の研究室のセミナー等で腕を磨こう。

子供に「iGEM って何?」と聞かれたら、「い言訳をしないで、*g* 頑張る、*E* 偉い、*m* 人 (man) といったら分ってくれるに違いない。

#### 【写真】

前列 左から：山崎裕太 (生体分子コース)、峯岸美紗 (生体分子コース)、古清水 智夏 (生体分子コース)、広瀬茂久 (元学部長、現資史料館)、徳間 啓 (生命情報コース)

後列 左から：増山愛理 (生体分子コース)、安部航司 (生物工学コース)、川村 淳 (生体分子コース)、高良 勇輝 (生物工学コース)、篠原 陸 (生物工学コース)、柏木貴裕 (生物工学コース)



交流会・新歓の企画運営をした仲間

一般社団法人 蔵前工業会には 学生組織がある (正式名称: 蔵前工業会 会員部会 学生分科会)。そのメンバーが今回のイベントの企画運営にあたってくれた。中嶋さん (右から 2 番目) の説明 (前頁) にあったように、いくつかの班に分かれて活動しているが、そのうちのジャーナル班が「蔵前ジャーナル」に連載している「学生リポーターの先輩訪問」を楽しみにしている人も多いただろう。今回の企画運営や司会原稿などから分るように、この学生リポーター欄も大変よくできているので一読をお勧めしたい。蔵前ゼミの印象記と同様、就活の参考にもなる。

#### 【写真】

左から：塩原美守 (司会、無機材料工学科 B4)、和田将樹 (原子核工学専攻 M1)、岡崎俊樹 (クイズ出題、物理学科 B3)、中嶋 渉 (学生分科会の説明と勧誘、知能システム科学専攻 M2)、小林敏洋 (材料物理科学専攻 M1)。